

令和7年度（所属名）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。教育公務員としてその責任を自覚するとともに、職務に専念し、服務規律を遵守する。	<p>定例職員会議に合わせて研修会を実施した。研究推進グループがインクルーシブ教育実践推進校として、テーマを選定するとともに職員が主体的に運営することで、職員一人ひとりが「自分事」として捉えることができた。</p> <p>神奈川県公立学校教職員の倫理に関する指針に基づき、服務規律（8月）、飲酒運転等の根絶（11月）、コンプライアンス意識の醸成（2月）に関する職員啓発資料を活用し、不祥事防止研修会を実施し法令遵守徹底することができた。</p>
職場におけるハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	他者の人権を尊重し、同僚に対して思いやりを持って接することで、職場における不適切な言動を排除し、各種ハラスメントを防止する。	<p>職員啓発資料を活用し、5月、1月、3月に不祥事防止研修会を実施し、職場のハラスメント防止の意識及び人権意識を高めた。</p> <p>7月、12月にアンケートを実施し、ハラスメントの未然防止や意識の向上を図るとともに、実態を明らかにし、適切に対応できていることを確認することができた。</p>
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが、子どもたちの人権を尊重し、生徒に対するセクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する。また、教育相談及び生徒相談窓口の充実を図り、利用を促していく。	<p>職員啓発資料を活用し、5月に不祥事防止研修会を実施するとともに、7月、12月にアンケートを実施し、職員の人権意識及び教育公務員としての自覚、意識を高めた。</p> <p>かながわ子どもサポートドック等も活用し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の相談窓口を紹介し利用を促すことができた。</p>
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	<p>職員啓発資料を活用し、7月に不祥事防止研修会を実施するとともに、7月、12月にアンケートを実施し、実態を明らかにするなかで、指導の在りようを見直すことができた。</p>
成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止及び入学者選抜に係る事故防止	全職員が当事者意識を持って業務にあたり、生徒の一生を左右しかねない重大な事故につながることを理解し、点検体制を再確認するとともに、マニュアルに基づき業務を行う。	<p>職員啓発資料を活用し、4月、6月、12月に不祥事防止研修会を実施し、全職員が当事者意識を持って業務にあたり、成績処理及び各種通知票等の作成・発行にあたり点検体制を再確認し業務を遂行することができた。</p> <p>入学者選抜においては、受検生や保護者が安心して受検に臨むことができるよう、業務マニュアルの見直しを進め、業務手順やチェック体制の確認を確実にを行い、事故防止に努めつつ全職員が責任感を持ち、業務を遂行することができた。</p>

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適切な取り扱いに努め、個人情報の紛失、滅失や漏えいを未然に防止する。	職員啓発資料を活用し、4月、6月、9月に不祥事防止研修会を実施し、意識の向上を図り、個人情報の適切な取り扱いを徹底できたことで、流出や紛失等を防止することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、安全意識を高めることで、車通勤途上及び週休日や長期休業中の交通事故の発生を未然に防止する。	職員啓発資料を活用し、11月に不祥事防止研修会を実施した。飲酒問題のスクリーニングテストを実施し、全職員が自分事として安全意識を高めることができた。
会計事務等の適正執行	私費会計基準に則して適正に会計処理を行う。	職員啓発資料を活用し、10月に不祥事防止研修会を実施し、私費会計基準に基づく会計処理状況を確認した。 3月には、不適切な会計処理の事例を取り上げ、会計事務の適正な執行について周知徹底を図った。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

年間を通じて目標達成に向けて課題に取り組んだ。特に生徒の個人情報、成績関係、入学者選抜業務においてはダブルチェックを意識づけた業務遂行ができた。

今後は職員啓発資料のみに頼らず、職員個人の経験談や意識していることなどを題材とした研修も取り入れていきたい。風通しの良い職員室を目指す。